

No.1431

MEDIUM DRY PARTS CLEANER

「業務用製品」シリーズ



抜群の浸透力とすぐれた分解力！
速乾性パーツクリーナーでは落とせない
頑固な油汚れをしっかりと除去。

金属パーツ洗浄剤

遅乾性パーツクリーナー

特長

- すぐに乾かず、有効成分が汚れにじっくり浸透し、汚れを内側から分解します。
- 有機則規制外なので安全性の高い、第2石油類のパーツクリーナーです。
- ブラシやウエスを使用すると一層効果的です。
- 逆さでもスプレーできます。

用途

各種金属パーツ、金型、鋳型の洗浄・脱脂 / 機械、治具、工具の保守管理

製品名	遅乾性パーツクリーナー	容量	420ml
製品番号	1431	製品サイズ(φ×h)	H200×φ66
管理番号	4-31	製品重量	414g
希望小売価格	オープン		



金属パーツの洗浄に



ブラシを使えばさらに効果的

有効成分が頑固な油汚れに じっくり浸透!しっかり落とす!



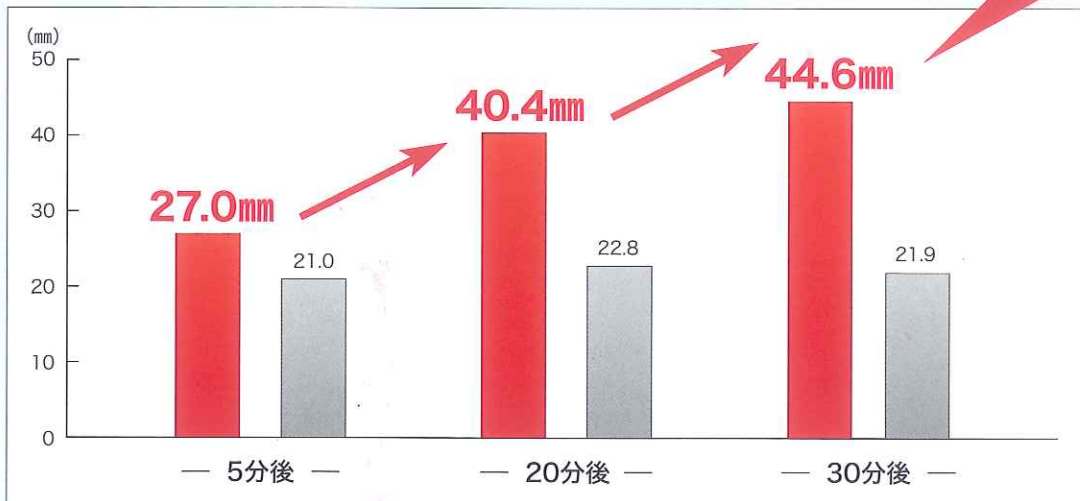
※イメージ写真

抜群の浸透力をテストで実証!

時間の経過に伴い「遅乾性パーツクリーナー」の浸透力が強まり
30分後には**2倍以上**の差が実証された!

浸透性能試験

研磨した試験用の釘を用意し、試験液が入ったビーカーの中に垂直に固定、単位時間毎に液が上昇した距離を測定。



※自社調べ（記載されているデータは実測データです。）

「速乾性と遅乾性の違い」

速乾性パーツクリーナーは洗浄液の乾燥時間が非常に短く、洗浄後すぐに次の作業に取りかかれます。
遅乾性パーツクリーナーは速乾性とは異なり、すぐに乾かず有効成分が汚れにしっかり浸透し、汚れを内側から分解・除去するため、固着・堆積している汚れや高粘度オイルなどの速乾性パーツクリーナーでは落とさきれない頑固な油汚れに効果的です。ブラシやウエスの併用が可能な点も遅乾性パーツクリーナーの特長です。

「第一石油類と第二石油類の違い」

多くの速乾性パーツクリーナーが分類される第一石油類の引火点は21℃未満ですが、遅乾性パーツクリーナーが分類される第二石油類の引火点は21℃以上70℃未満と、第一石油類に比べ安全性が高くなっています。また、危険物の貯蔵・取扱いの基準となる指定数量も、第一石油類の200Lに対して第二石油類は1,000Lと5倍になっています。